

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
瑞江葬儀所	(指定管理者名)公益財団法人 東京都公園協会 (団体の概要)都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業(指定管理者事業を含む)及び収益事業を行う。
指定期間	
H31.4.1 ~ R6.3.31(5年間)	

2 施設名	3 収支(単位:千円)				公園別支出額
瑞江葬儀所	項目	令和4年度 金額	令和3年度 金額	令和2年度 金額	
	収入計	366,272	351,047	350,253	
	内 指定管理料	366,272	351,047	350,253	
	利用料金	0	0	0	
	支出計	353,856	344,911	349,343	
	収支差	12,416	6,136	910	

4 管理運営の概要

◆新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方の火葬対応
 ・令和3年度に引き続き優先枠を設けて積極的にコロナ火葬の受け入れを行いました。1月の厚生労働省のガイドライン改正にあたり、内容に沿った対応をするために、課題や問題点等を東京都と連携を図りながら受入れの変更を行いました。変更した内容はホームページへの掲載による周知や、来所される葬儀社に対して丁寧に説明したことで理解いただきました。

◆公の施設としての平等かつ公平な管理運営
 ・施設利用の受付、使用料等の徴収、火葬予約受付、葬儀所に相応しい心のこもったサービスの提供等、公正で適切な葬儀所運営を行いました。特定の宗教・宗派等にとらわれない平等かつ公平な管理運営を推進し、個人情報保護にも万全を期しました。

◆正確な公金徴収と事務処理
 ・研修やOJTによる金銭管理の徹底、職員相互や管理監督職による帳票類のダブルチェックの徹底等、正確な事務処理を行うことで事故の発生を防ぐことができました。

◆確実かつ円滑な火葬及び維持管理業務の実施
 ・火葬炉等の保守・点検や施設の清掃及び補修、芝刈、樹木の手入れ、大雨対応、廃棄物のリサイクル処理等、基本的な施設管理と環境に配慮した維持管理を実施しました。

◆地域との連携
 ・黒煙対策の実施結果及び火葬炉排出ガス測定結果等の地元への情報提供や、施設周辺の落葉の清掃等の実施により、地域との信頼関係向上に努めました。

◆東京都事業への協力
 ・東京都の建替工事に向け、工事期間中の火葬運営や利用者への影響を最小限にするために課題や提案を行いました。また近隣住民への説明において地元町会長との調整や参加等を積極的に行い、円滑な工事着工への協力を図りました。

5 管理状況（維持管理）

・火葬炉設備については、職員による日々の点検と業者による定期点検により発見した火葬設備の不具合を速やかに補修することで、設備の延命化を図り、安定した稼働を継続しました。また、毎年行われる東部公園緑地事務所発注の火葬炉改修工事が、本年度は建替工事と並走することになり煩雑を極めましたが、例年以上に綿密に情報交換を行い、工事に係る現場担当者に対して主体的に調整を行う等協力したことで、工期内の工事完了に貢献しました。

・年間維持管理計画を作成し、これに基づき効果的な時期に保守や予防保全工事を組み合わせて行うことで、1年間を通して監視、放送、空調設備等を業務に支障なく運用することができました。

・所内庭園の維持管理について、直営と委託を効率的に組み合わせて行い、厳粛な雰囲気の中にも美観・景観に配慮した施設とすることで、利用者の快適性を高めることができました。また、児童公園の巡回点検、清掃等を行い、地域の安全確保と環境美化にも貢献しています。

・煙の状況をモニターで監視をし、ご遺体の状況を確認しながら火葬時の炉圧やガスバーナーの調整を行うことで、引き続き黒煙の発生防止に努めることができました。

・敷地境界の樹木も念入りに点検し、電線への越境枝剪定や、近接交差点の視界をよくするための剪定を行う等して、地域の安全・安心確保に貢献しました。

6 利用者アンケート結果

実施方法：所内で調査票を配布・回収/QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員への対応
瑞江葬儀所	3.6	3.5	3.6	3.4	3.7



瑞江葬儀所

所在地：江戸川区／敷地面積：3.75ha

唯一無二である公営火葬場
役割・使命を忠実に果たす



コロナ火葬対応の変更

ご遺族に寄り添った対応へ

令和5年1月6日に厚生労働省のガイドラインが改正されたことを受け、コロナ火葬対応を変更した。

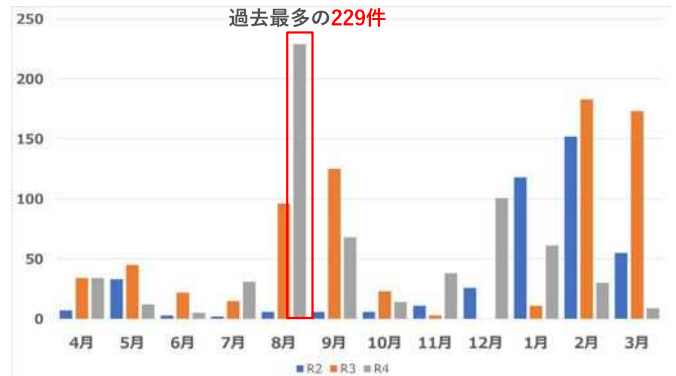
<利用者対応>

- コロナ火葬優先枠の廃止
- 会葬者立ち会い制限の解除
- 情報共有シートの有効活用

<職員対応>

- 防護服等の着用廃止

<過去3年間の月別コロナ火葬受入件数>



どの時間帯でも受け入れを可能としたこと、最期のお別れや収骨に会葬者が立ち会いできるようになったことをご遺族の意向に沿ったサービスを提供することができた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
R1													2
R2	7	33	3	2	6	6	6	11	26	118	152	55	425
R3	34	45	22	15	96	125	23	3	0	11	183	173	730
R4	34	12	5	31	229	68	14	38	101	61	30	9	632

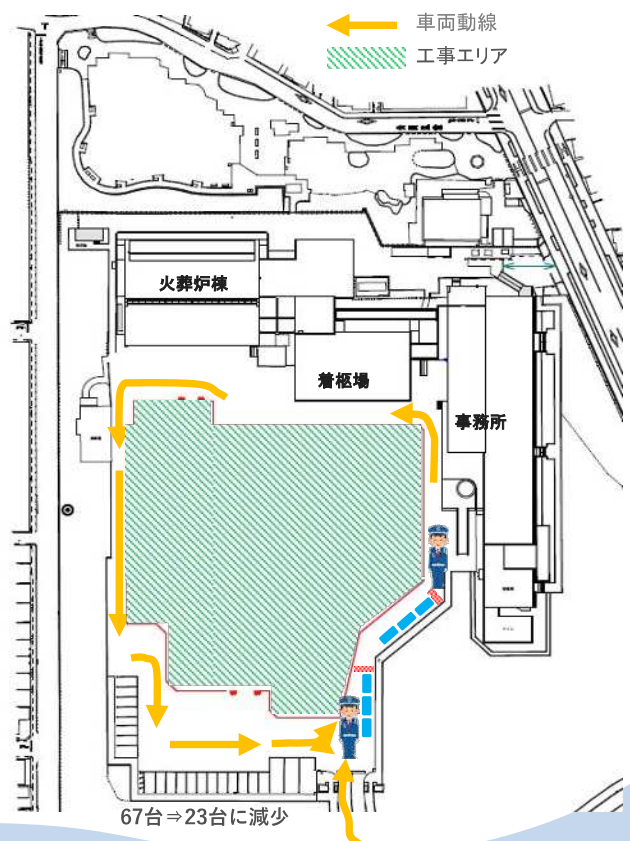
建替工事への対応

建替工事期間中も火葬業務は継続

令和6年度の完成に向け東京都による葬儀所の建替工事が着工に伴い、**段階的な工事エリアや車両動線の変更、駐車場の縮小（1/3減少）が生じたため**東京都、工事業者と連携を図りながら対応した。

- 住民説明会・葬儀社説明会の開催
- ホームページ等による事前周知
- 葬儀社担当者への丁寧な説明
- 誘導警備員の配置
- 所内各部署との連携強化（受付・着柩・ホール）

大きな混乱や苦情もなく、円滑な火葬業務を維持したことで質の高い利用者サービスを提供することができた。





老朽化した施設や設備の延命化

約40年を超過した施設

現在の瑞江葬儀所は昭和50年に全面改築された施設であり築40年を超過している。新しい施設が稼働するまでは、劣化や老朽化が進んでいる施設で**火葬業務を継続しなければならぬため**、日々入念に補修対応等を行うことで延命化を図った。

- 火室や軒下の雨漏り解消
 - ☞ルーフドレイン部材補修（雨水集約箇所の改善）
 - ☞軒裏漏水管への受皿設置（漏水の強制導水処理）
- 火葬炉不具合動作解消
 - ☞センサー類の交換（点火時の不安定解消）
 - ☞チェーンブロック交換（断熱扉動作の安定化）
- 空調設備異音解消

現場調査を繰り返し行い、**実施効果が高いと判断された修繕を厳選**して行うことにより、費用や工期を最小限に抑えることができた。不具合箇所を的確に修繕、補修することで老朽化が進む施設を維持しながら**火葬を止めることなく遂行することができた。**



ルーフドレイン部材交換



漏水管への受皿設置

防災力の強化

災害を想定した火葬業務

平成21年に初めて「優良防火対象物」として認定を受け、以降定期的に自衛消防訓練や広域火葬訓練等を実施することで震災等の有事に備える体制を図っている。

- 自衛消防訓練
- 優良防火対象物の認定更新
- 関東甲信越静岡ブロック広域火葬連絡通信訓練
- 参集訓練

定期的に消防訓練や広域火葬訓練を実施することで、有事の際、被災地の火葬受け入れや、火葬業務を停滞させない体制を維持し、**公営火葬場としての役割を果たすことができた。**



自衛消防訓練



消火設備点検